



# 春の

# 山菜採り

# 遭難に注意！



道内では、山菜採りに出掛ける人が、山中で道に迷ったり、負傷する遭難が後を絶たず、例年、4月から6月にかけては、春の山菜採りとして、行者ニンニク、タケノコ採りに伴う遭難が多発しています。

過去5年間における、春の山菜採り遭難の発生状況は、343件375人で、そのうち、78パーセントが、行者ニンニク、タケノコ採り目的の入山となっております。

年齢別では、65歳以上の方が、全体の82パーセントを占め、原因別では、山菜を探すことに夢中となり、山奥に入って方向を見失うケースが、全体の79パーセントを占めています。

また、昨年は、ヒグマによる人身被害が、統計を開始した昭和37年以降最多となっており、山菜採り中のヒグマによる死亡事案も発生していることから、本年も同様の被害の発生が懸念されます。

山菜採りで入山する方は、十分な準備と慎重な行動を心掛けるとともに、御家族についても、行き先や帰宅時間、遭難防止の準備が十分かどうかを確認するなど、遭難を防止するための声掛けを行いましょう。

## 山菜採り目的の入山者心得

単独行動しない

慣れた場所でも油断しない

行き先、帰宅時間を家族に伝える

慌てず、落ち着いて行動する

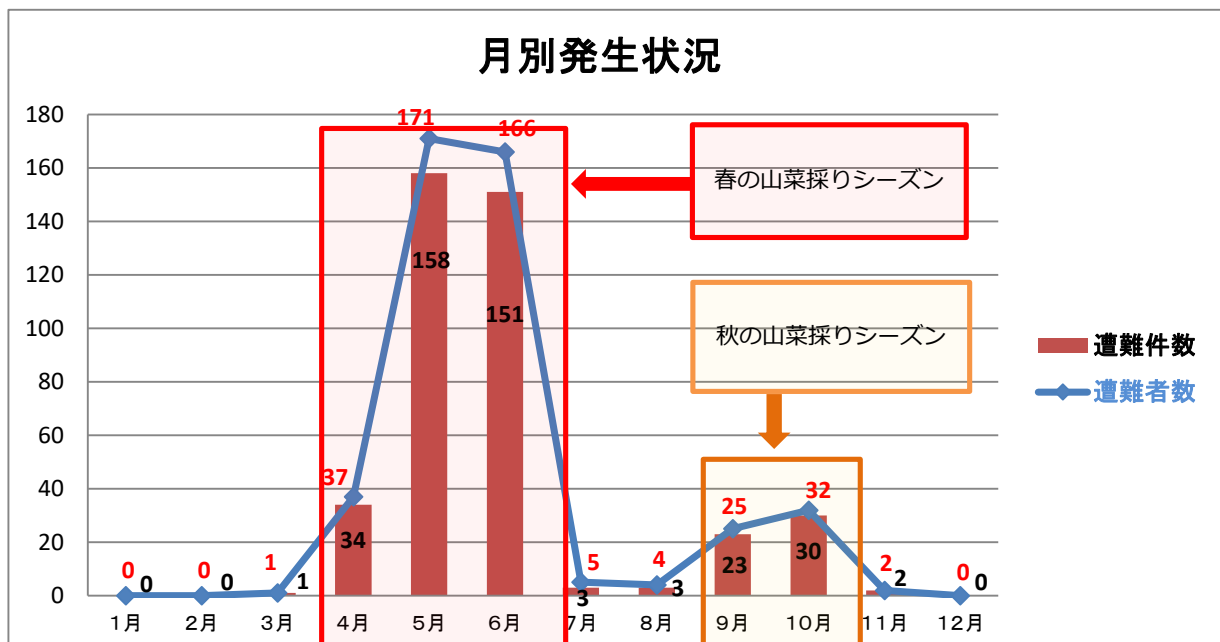
目立つ服装、携帯電話・ホイッスルは必携

## 過去5年間の山菜採り遭難発生状況

	発生件数	遭難者数	死亡	不明	負傷	無事
平成29年	108	115	9	3	12	91
平成30年	81	87	6	1	19	61
令和元年	72	82	9	1	13	59
令和2年	74	81	9	2	8	62
令和3年	70	78	6	4	12	56
合計	405	443	39	11	64	329

## 過去5年間の春の山菜採り遭難発生状況

	発生件数	遭難者数	死亡	不明	負傷	無事
平成29年	95	101	8	2	11	80
平成30年	70	75	6	0	15	54
令和元年	60	70	7	0	12	51
令和2年	62	67	9	2	7	49
令和3年	56	62	5	4	8	45
合計	343	375	35	8	53	279



# 慣れた山にも隠れた危険が!

慣れた山でも、油断すると至る所に「危険な落とし穴」があるということを忘れず、次のことに心掛けましょう。

## □ 行き先、帰宅時間を家族に告げる

『自分だけの秘密の場所だから』では、行き先が分からず捜索開始が遅れます。

行き先や帰宅時間は、必ず家族等に知らせましょう。

## □ 単独での入山を避ける

万一、迷ったり、けがをした場合は、一人では救助要請できないことがあります。

できるだけ複数で入山し、絶えずお互いの位置を確認しながら行動しましょう。

## □ 携帯電話、ホイッスルを携帯する

携帯電話は、非常時の連絡手段として、必ず持ちましょう。

ホイッスルがあると自分の存在を知らせることができます。

## □ 目立つ色の服装を

山中では、赤・白色系の服装が目立つので、救助隊やヘリコプターから発見されやすくなります。

また、山の天候は変わりやすいので、雨具や防寒着を携帯しましょう。

## □ 落ち着いて行動する

万一、山中で迷った場合は、むやみに歩き回らず、体力の消耗を抑えて、発見されやすい視界が開けた場所で待機しましょう。



# ヒグマに注意!

過去5年間で、山菜採り中にヒグマに襲われる被害は7件発生し、そのうち3人が亡くなっております。

入山する地域のヒグマ出没情報を確認し、ヒグマによる事故を防ぎましょう。

平成 29 年	4月 16日	標茶町	50代	男性	負傷
	10月 4日	白糠町	70代	男性	死亡
平成 30 年	4月 20日	函館市	60代	男性	負傷
	10月 11日	八雲町	50代	男性	負傷
令和 元年	ヒグマによる人身被害の発生なし				
令和 2 年	5月 8日	滝上町	60代	男性	負傷
	5月 15日	古平町	70代	男性	死亡(ヒグマによる襲撃が疑われる)
令和 3 年	4月 10日	厚岸町	60代	男性	死亡